

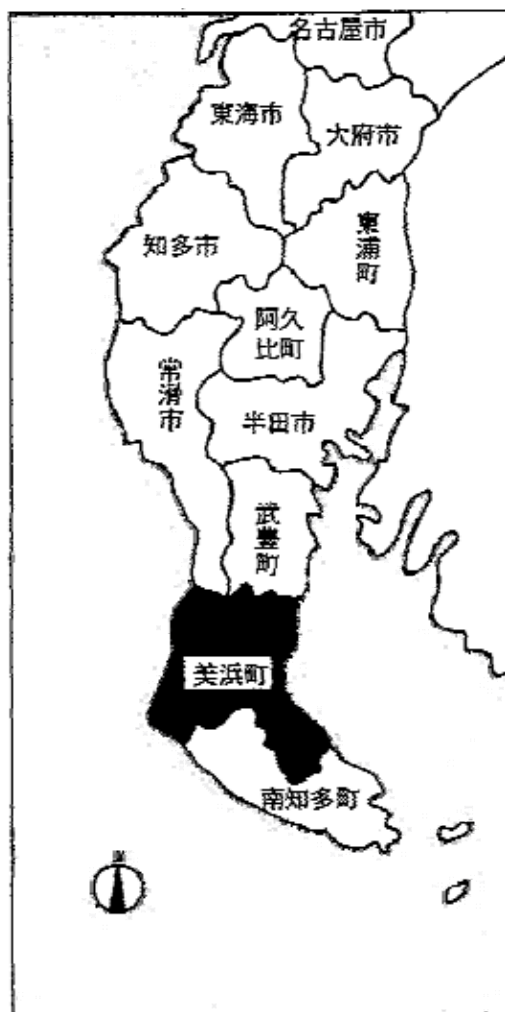
1 町の概要

位置 (美浜町役場)
北緯 34 度 46 分
東経 136 度 55 分

広 さ
東西 6.5 km
南北 9.5 km
面積 46.39k m²

都市計画用途地域

第一種低層住居専用地域	5.9ha
第二種低層住居専用地域	168 ha
第一種住居地域	276 ha
第二種住居地域	10 ha
近隣商業地域	21 ha
商業地域	7.0ha
準工業地域	12 ha
工業地域	17 ha
合計	517 ha



沿革

本町は昭和 30 年 4 月 1 日、隣接の河和・野間両町が合併して美浜町として発足し、その後昭和 32 年 3 月 31 日に小鈴谷町の一部の上野間地区を合併し、現在の美浜町となりました。

地勢

本町は知多半島の南部に位置し、東は知多湾、西は伊勢湾に面し、北は常滑市及び武豊町に、南は南知多町に隣接しています。中央部には南北に知多丘陵が小丘起伏し、これにより東西両海岸に向かって平地が形成されています。

概要

温暖な気候と両海岸の美しい砂浜は海水浴場として、また天然記念物「鶺鴒の山鶺鴒繁殖地」を始め、源義朝の悲惨な最期の地「野間大坊」、鎖国日本に米船モリソン号渡航の因をなした「和訳聖書発祥の碑」、時志観音、杉本美術館、南知多ビーチランドなど三河湾国定公園内には数多くの観光資源があり、四季を通じて訪れる観光客で活況を呈しています。

産業分野では、ノリ養殖・みかん・米作・畜産などの地場産業に加え、ハウスミカン・キウイフルーツ・花木などの施設作物が盛んとなってきました。鋳物砂関連産業やえびせんべい、水あめ・コーンスターチ工場などもあります。特に、工場見学しながら買い物もできるえびせんべいの里や、ナチュラル村、そして自然野菜を中心に販売しているジョイフルファーム鶺鴒の池、海の幸が楽しめる魚太郎などは観光客にも人気があります。